



平成 29 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 鈴木
代表者名 代表取締役社長 鈴木 教義
(コード：6785、東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員 横山 勝登
(TEL. 026-251-2600)

平成 29 年 6 月期通期連結業績予想と実績値との差異
および関係会社株式評価損の計上に関するお知らせ

当社グループは、平成 29 年 2 月 13 日に公表した平成 29 年 6 月期（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、同期間の個別決算において関係会社株式評価損を特別損失として計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 6 月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,375	1,274	1,200	577	46.66
今回実績値 (B)	23,723	1,727	1,676	916	73.98
増 減 額 (B - A)	348	452	475	338	—
増 減 率 (%)	1.5	35.5	39.6	58.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 6 月期)	23,093	1,436	1,264	165	13.37

(差異の理由)

主力となっている部品セグメントにおいて、自動車電装向け部品が堅調に推移いたしました。民生向けのコネクタ用部品において、予定を上回る水準を確保することができました。また、車載向けも比較的好調に推移いたしました。

2. 関係会社株式評価損の計上

平成 29 年 6 月期（平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）の個別決算において、海外子会社 PT. SUGINDO INTERNATIONAL について、実質価格が著しく下落したことから、「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、関係会社株式評価損として 339 百万円を特別損失へ計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以 上